

【会議録別添】第2回移住定住部会ワークショップでの意見

③ 移住者の生活環境を向上させる方策(仕事、住まい、子育てなど)

No.	実施主体	実施内容
1	市民	声かけ
2	市民	地域ルールブックを作成する
3	市民	市内で買い物をする
4	市民	移住者の地域への関わりたい度合をチェックする
5	市民	地域の運動会や盆踊りなどに移住者を巻き込む
6	市民	起業する
7	市民	移住者との適度な距離感を保つ
8	市民	地域での「くらしの説明書」を作成し、移住者に配布する
9	市民	住む地域の年間イベント表を作成し、配布する
10	市民	エコビレッジのような集合住宅地を作り、ゆるく移住者と交流する(坂井市で事例)
11	市民	単身移住希望者を受け入れるためのホームステイ先をつくる
12	市民	若手移住者が活動できるような〇〇部をつくる
13	企業	賃貸物件の相場を安くする
14	企業	大野ならではの物が手にはいるお店をつくる(自然のもの)
15	企業	住宅やアパートの借り上げ
16	企業	副業を認める
17	企業	会社の中に移住者世話人を作ってサポートする
18	企業	バス、電車のすみ分け
19	企業	事業継承企業や個人事業主の仕事紹介、ワークステイ
20	企業	事業で使えるテナントや空き家を商工会議所で情報提供する
21	企業	マンション、アパートをもっとつくる
22	企業	リアル&オンラインの外部交流をさかんに行う
23	企業・行政	子どもの預かり場所(ルーム)を設置する
24	企業・行政	移住者が多く働いている企業を紹介する(安心して入りやすい雰囲気)
25	企業・行政	町の雰囲気をよくする。エリア別けを行う
26	企業・行政	移住ターゲット(20~40代)が行きたくなるお店、スポットをつくる
27	企業・行政	移住希望者向けの国・県・市の助成制度を勉強する
28	行政	農村部に移住しても不便さを感じなくすむ方策を考える
29	行政	地域おこし協力隊制度を活用した仕事体験
30	行政	外国人にも自然の良さ、大切さを理解してもらう
31	行政	尖った情報発信(県のポスターのような)
32	行政	移住者専用の貸農園をつくる
33	行政	民間の空き家改修を補助する
34	行政	住みよさ、住み甲斐をつくる
35	行政	テレワークブースの設置(個人用)

(続き)

No.	実施主体	実施内容
36	行政	総合病院、小児科専門病院をつくる
37	行政	子育て低所得若い世帯へのおむつ支援
38	行政	ターゲットごとに向けて楽しい大野の一日の過ごし方プランを発信する
39	行政	「移住者の〇〇さんと話してみよう」というような住民と移住者の交流の場を設ける

その他意見

- ・市民が生活の中で当たり前になっていることでも、移住者は分からないことが多い。(地下水、車の維持費、ゴミ出し、社会奉仕…)
- ・建物と農地をセットで売れるような仕組み
- ・住む場所として廃校の活用
- ・企業誘致進出企業への住まいの支援
- ・外国人の受け入れ区域
- ・都会のIT関係の人の心の療養のために来てもらう
- ・移住先として求められているのは「トカイナカ」